



ごあいさつ

檜原村長 坂本義次

小林家住宅は、江戸・明治・大正・昭和そして平成と300年以上の間、この家で生活する人々や檜原村の歴史を見つめてきた民家であります。

昭和51年(1976)国の重要文化財に指定され、その後、平成20年(2008)に檜原村の管理となりましたが、これを機に建物の調査を行ったところ、建物全体にわたり破損箇所が見られ、修復の必要がありました。

また、数多くの修復に加え、建物全体に歪みが見られることから、全解体修理に踏み切ることとなりました。

平成23年度より始まった解体修理は、修繕する際もカンナ等は使わずチョウナを使うなど当時の形を忠実に再現することにより約4年間を費やし、平成27年3月に完了しました。

小林家住宅は時代や生活様式の変化に伴い、幾度となく増改築を繰り返して参りましたが、同じ場所へ建築当初の形を現すことにより、当時の文化や、現代の車社会では考えられない、尾根沿いに民家が存在した意義を現代の私たちに伝え、尾根道の重要性と日本人の営みを残すことができました。

今後は、国民の財産である重要文化財を、後世の人々に伝え残すことが私たちに課せられた使命であり、単に飾り物として残すのではなく、多くの方に生活体験としての活用や、小林家住宅を取巻く環境と共に往事を思い、目まぐるしく動く社会から時には離れ原点回帰の場所として、多くの人に愛され、護られていくことを願ってやみません。

平成27年3月



保存修理運搬設備工事



取り壊し前



モノレール河川横断状況

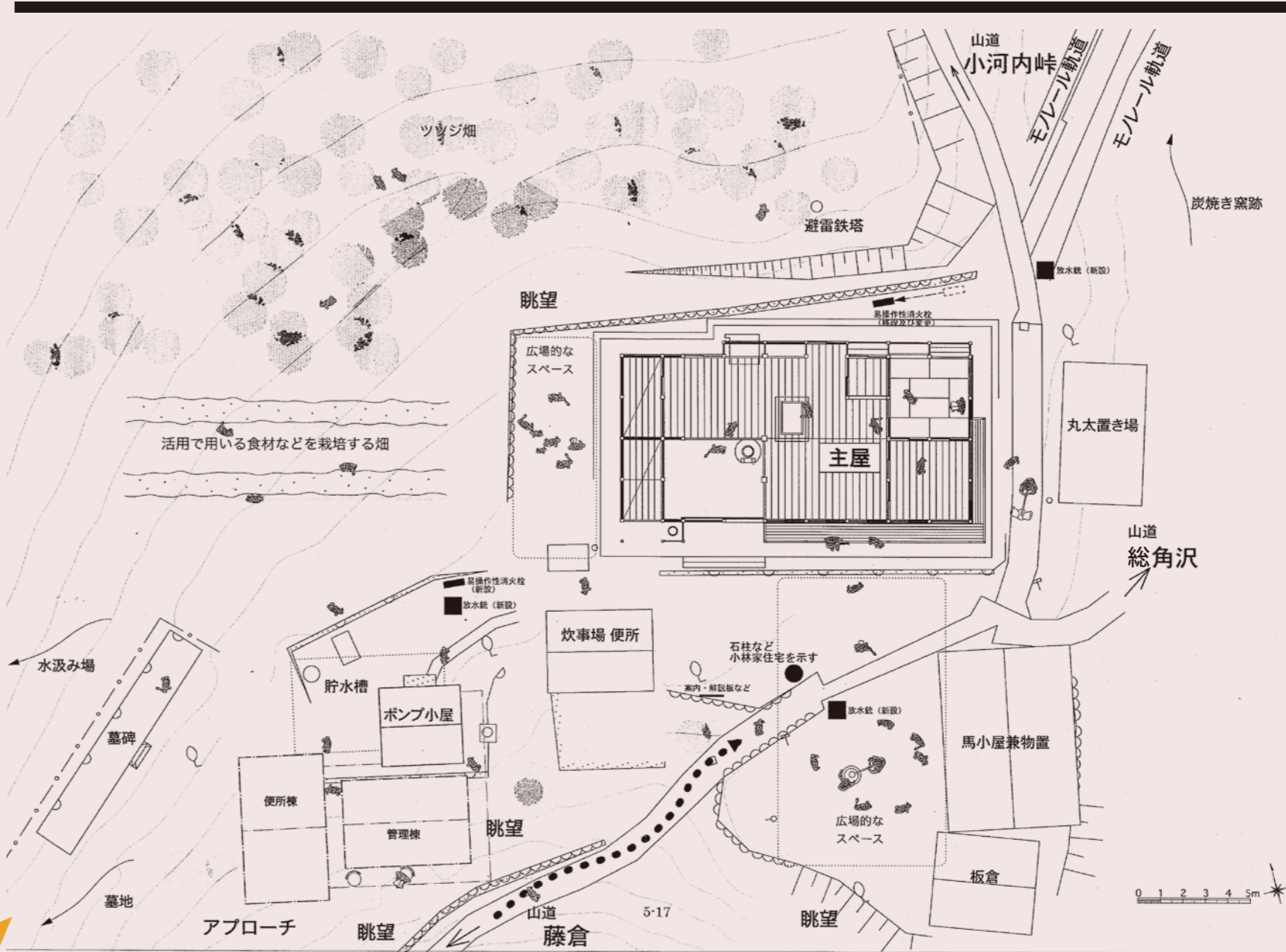


仮設の骨組状況



小屋組安全網の設置

小林家住宅見取り図



茅葺きの除去作業



屋根茅葺き取り外し状況



解体終了後状況



ツツジ園と小林家住宅



茅葺きの完成



屋根部分骨組の完成



骨組の完成